

2023年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(研究留学生 (文科系専攻))

日 本 語 (A)

注意 ☆ 試験時間は120分

☆ 答えは全て解答用紙に記入すること。

☆ 問題はA (初級)、B (中級)、C (上級) の三つあります。

(2023)

日本語 (A)

国籍 Nationality		番号 No.		点数 Marks	
氏名 Name	(フルネームを書いて、姓に下線を引くこと。 Please print your full name, underlining your family name.)				

問題

A

Elementary Level

I _____に ^{はい}入る ^{いち}一ばん ^{てきとうな}てきとうな ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例)	わたしは	^{にほんご} 日本語	_____	^{べんきょう} 勉強	しています。		
A	が	B	を	C	に	D	へ

1 へやに ^{きれいな}きれいな ^{はな}花 _____ かざって あります。

A に B の C が D へ

2 ^{まいにち}毎日 としょかん _____ ^{じかん}1時間 ^{べんきょう}べんきょうします。

A に B へ C を D で

3 「^{にほんご}日本語の ^{べんきょう}べんきょうは _____ ですか。」

「^{むずか}難しいですが、おもしろいです。」

A ^{なん}何 B どう C どんな D どうして

4 ^{たなか}田中さんの ^{たんじょうび}たんじょう日パーティーに プレゼントを ^か買って _____。

A しましょう B ありましょう
C いきましょう D つくりましょう

5 ^{じてんしゃ}自転車の ^{かぎ}かぎを _____、とても こまりました。

A なくせて B なくして C ないで D なくて

6 ^{らいねん}来年 ^{とうきょう}東京で ^{おお}大きい ^{かいぎ}会議が _____ そうです。

A される B する C ^{ひら}開かれる D ^{ひら}開く

7 ^{そと}外は とても ^{つめ}冷たい _____ が ふいています。

A ^{かぜ}風 B ^{あめ}雨 C ^{ゆき}雪 D ^{くも}雲

8 10年前と ^{くらべて}くらべて、この ^{まち}町は _____ ^か変わって しまいました。

A ちょうど B きっと C あまり D すっかり

9 子どものころ、よく妹と _____ をしました。

- A けんか B けが C うそ D おかし

10 あしたの試験の時間に遅れない _____ してください。

- A ため B ために C ように D ような

Ⅱ _____ と ーばん かんけいがあるものを A～Dの 中から 一つ えらびなさい。

(例) けさ コーヒーを のみました。

- A きょうの あさ
B きょうの ゆうがた
C きのうの あさ
D きのうの ゆうがた

1 先生は 何を めしあがりますか。

- A あげますか B 食べますか
C しますか D 着ますか

2 わたしは 歌が 好きですが、田中さんほど じょうずでは ありません。

- A 田中さんは わたしと 同じぐらい 歌が へたです
B 田中さんは わたしと 同じぐらい 歌が じょうずです
C 田中さんは わたしより 歌が へたです
D 田中さんは わたしより 歌が じょうずです

3 最近の 子どもは あまり 歩きたがりません。

- A 歩くことが できません B 歩いたことが ありません
C 歩くのが 好きでは ありません D 歩くのが きれいでは ありません

- 4 弟は 去年 小学校を そつぎょうしました。
- A 今、弟は 中学生です B 今、弟は 小学生です
C 今、弟は 高校生です D 今、弟は 小学校を 休んでいます

- 5 「ごちそうさまでした。」
- A 今から 食事を します B 今、しごとが 終わりました
C 今から うちに 帰ります D 今、食事が 終わりました

- 6 田中さんは 先月 ひっこしました。
- A 学校に 入りました B 家を 大きく しました
C 会社を やめました D 住所が かわりました

- 7 あぶないですから この ボタンには、ぜったいに さわっては いけません。
- A さわって ください B さわらないで ください
C さわって しまいました D さわろうと 思っています

- 8 医者：「まだ やわらかい もの以外は 食べないで ください。」
- A まだ やわらかいものしか 食べられません
B まだ やわらかいものは 食べられません
C 今、かたいものだけ 食べて ください
D 今、かたいものを 食べても いいです

- 9 あしたの 午後は つごうが 悪いです。
- A 雨が ふります B 時間が あります
C いそがしいです D 天気が よく ありません

- 10 この 野菜は 初めて 見ました。食べ方が わかりません。
- A なぜ 食べるか わかりません
B どうやって 食べるか わかりません
C どこで 食べるか わかりません
D いつ 食べるか わかりません

Ⅲ _____に ^{はい} 入る ^{いち} 一ばん てきとうな ものを A～Dの ^{なか} 中から ^{ひと} 一つ えらびなさい。

- 1 ^{やま} 山田さん：「この ^へ へや、^{あか} 明るくて ^{ひろ} 広くて、いいですね。」
^た 田中さん：「_____、^{えき} 駅から ^{とお} 遠くて、ちょっと ^ふ 不便なんです。」

- A しつれいですが B そうなんですが
C どうでしょうが D ちがいますが

- 2 ^た 田中さん：「^{やま} 山田さんの ^{ねえ} お姉さんが ^{にゅういん} にゆういんしたそうですね。」
^{なか} 中山さん：「^{やま} 山田さんも ^{ねえ} お姉さんと ^{びょういん} いっしょに 病院に ^い いるらしいですから、
きょうは ^{やま} 山田さん、_____。」

- A ^{かいしゃ} 会社を ^{やす} 休んだら どうですか
B ^{かいしゃ} 会社を ^{やす} 休んでも いいですか
C ^{かいしゃ} 会社を ^{やす} 休むことが できます
D ^{かいしゃ} 会社を ^{やす} 休むかも しれませんね

- 3 ^{やま} 山田さん：「^{あた} 新しい ^{しごと} しごとは ^{いか} いかがですか。」
^た 田中さん：「_____ ^{たの} 楽しく ^{はたら} 働いています。みなさん ^{しんせつ} 親切で ^{はたら} 働きやすい
^{かいしゃ} 会社です。」

- A どういたしまして B おかげさまで
C つまらなくて D おだいじに

- 4 レストランの ^{てんいん}店員 : 「きょうの おすすめは、サラダと スープの セットです。
スープは ^{にく}肉か ^{さかな}魚 から えらべます。」
^{やま}山 ^だ田 さん : 「じゃあ、その セットを ^{ねが}お願いします。」
レストランの ^{てんいん}店員 : 「スープは どちらに なさいますか。」
^{やま}山 ^だ田 さん : 「じゃあ、_____。」

- A えらんでも いいですか B ^{にく}肉の スープを ください
C おねがいします D けっこうです

- 5 ^{なかやま}中山さん : 「あした、映画を ^{えい が}見る ^み前に、どこかで ^{まえ}食事しませんか。」
^{やま}山 ^だ田さん : 「いいですね。駅前 ^{えきまえ}に できた、^{あた}新しい レストランは どうですか。」
^{なかやま}中山さん : 「うーん、あそこだと _____。」
^{やま}山 ^だ田さん : 「そうですね。じゃあ、映画館 ^{えい が かん}の ^{ちか}近くの レストランを ^{さが}探して
おきます。」

- A ちょっと きれいですね
B ちょっと ^{あた}新しいですね
C ちょっと ^{さが}探しますね
D ちょっと ^{えい が かん}映画館から ^{とお}遠いですね

Ⅳ _____の ひらがなと 同じ 漢字で 書くものを A～Dの 中から 一つ えらびなさい。

(例) 漢字で か きます。

- A スーパーで か い物を します。
B 今日は もく よう日です。
C 今から 図 しょ 館へ 行きます。
D 本を よ みます。

漢字で 書 きます。

- A 買 い物 B 木 よう日 C 図 書 館 D 読 みます

答え. C

- 1 弟は 背が たか いです。
A 兄は こう 場で 働いて います。
B 銀 こう に どろぼうが 入りました。
C 駅の 近くに こう 校が あります。
D この 町の 人 こう は 10万人ぐらいです。
- 2 テーブルの した に ねこが います。
A か 曜日に プールに 行きましょう。
B 中学生以 か は 無料です。
C しょうらい 作 か に なりたいです。
D 日本の 文 か が 好きです。
- 3 スーパーで りんごを よっ つ 買いました。
A この 学校では し 月に 入学式が あります。
B 学校の イベントは 中 し に なりました。
C 日本の 大 し 館は どこですか。
D サッカーの し 合を 見に 行きましょう。

4 一日中 歩いたので あし が いたく なりました。

A 人が たくさん 来たので、いすの 数が た りません。

B あそこに 人が た って います。

C た 分、彼も 来ると 思います。

D あの ビルは 1958年に た てられました。

5 今 走れば、電車に ま に 合います。

A 毎朝 新 ぶん を 読みます。

B わからない ところを 先生に 質 もん します。

C 大学の 入り口に もん が あります。

D 駅と デパートの あいだ に レストランが あります。

V つぎ ぶん よ と こた なか もっと てきとう
次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選りなさい。

(1) 海の深いところにある水を「海洋深層水」と言います。この水は深さ200メートルより深くて暗いところにある水で、体にいいものがたくさん入っています。海洋深層水の研究は、電気を作るために始まりましたが、体にいい水だということがわかったので飲み物や化粧品などを作るときに使われるようになりました。世界中の海の水の95%ぐらいが海洋深層水ですから、これからは心配はないと言われています。

と 問い I ぶん ないよう あ
文の内容に合っているものはどれですか。

A 海洋深層水は海の200メートルより深いところにある体にいい水です。

B 海洋深層水の研究によって、電気から飲み物を作ることができました。

C 海洋深層水の研究は、飲み物や化粧品を作るために始まりしました。

D 海洋深層水はこれからすぐになくなってしまいます。

- (2) 田中さんの趣味は古い地図を見て町を散歩することです。古い地図を見ると、今いるところが昔どんなところだったのかがわかります。例えば、昔は大きな川だったところが道になって車が走っていたり、大きな家があったところが公園になっていたりします。昔と今を比べて、変わっているところや同じところがあって歴史の勉強にもなります。古い地図はインターネットでも見ることができて、田中さんはいろいろな町の昔と今を楽しんでいます。

と
問い 2 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 古い地図にかかっている道と今の道は同じです。
B 古い地図と今の地図では、同じところはありません。
C 古い地図を見て散歩すると歴史の勉強ができます。
D 古い地図は店で買うことができません。

- (3) テレビのアナウンサーが1分間に話す文字の数は、聞き取りやすい話し方のスピードだと言われています。日本人のアナウンサーが話す速さを昔と今で比べたら、テレビがたくさんの家に置かれるようになったころ(1960年ごろ)は1分間に300文字ぐらいでした。しかし最近では、1分間に300~350文字、中には400文字ぐらい話すアナウンサーもいるそうです。よく使われることは変わっているように、話すスピードも変わってきています。

と
問い 3 文の内容に合っているものはどれですか。

- A テレビのアナウンサーは聞き取りやすい速さで話します。
B テレビが増えたために、アナウンサーの話し方が速くなりました。
C 今と昔を比べるとテレビのアナウンサーの話す速さだけが変わりました。
D 今と昔を比べると人が話すスピードは変わりましたが、よく使われることは同じです。

(4) 山田さんは50歳のときに会社をやめて、花を育てる仕事を始めました。花は野菜より作るのが難しいですが、せまい場所でもたくさんとれて、軽いです。それに果物は育てるのに時間がかかりますが、花は果物より短い時間で育てることができます。花を育てるために、育て方や育てるときに使う機械についてたくさん勉強しなければなりませんでした。最近山田さんの奥さんも花を育てる仕事を手伝うようになって、いっしょに花を育てることを楽しんでいます。

と 問い 4 ぶん ないよう あ
文の内容に合っているものはどれですか。

- A やま だ おく はな そだ し ごと はじ
山田さんは奥さんといっしょに花を育てる仕事を始めました。
- B や さい はな つく みじか じ かん そだ
野菜は花より作りやすく、短い時間で育てることができます。
- C やま だ はな そだ べんきょう
山田さんは花を育てるためにたくさん勉強しました。
- D やま だ おく しゅ み はな そだ
山田さんは奥さんといっしょに興味で花を育てています。

(5) 今、ゴミの問題を解決するためにいろいろなものがリサイクルして使われていますが、300年ぐらい前の日本人もリサイクルをしていました。割れた皿や壊れたかぎ、くつなど、いろいろなものを修理して使っていました。紙のゴミを拾う仕事をする人や、壊れたかさを買って修理して売る仕事をしている人もいたそうです。昔の日本人はゴミの問題のためではなく、生活に使えるものが少なかったので、リサイクルをしていたと考えられています。

と 問い 5 ぶん ないよう あ
文の内容に合っているものはどれですか。

- A いま せいかつ つか すく
今、生活に使えるものが少ないのでリサイクルをしています。
- B いま に ほんじん
今の日本人は、ぜんぜんリサイクルをしていません。
- C ねん 300年ぐらい前、日本にはリサイクルの仕事をしている人がいました。
- D 昔の人はゴミの問題のためにリサイクルをしていました。

問題

B

Intermediate Level

I _____^{はい もっと てきとう}に入る 最 も 適 当 な も の を A ～ D の 中 か ら 一 つ 選 び な さ い。

1 私^{わたし}は 子 ども の ころ、病 気^{びょうき}_____ だ っ た。

A げ B がち Cこそ D っぽい

2 道^{みち}に 止 め て あ っ た 車^{くるま}が _____ 動 き 出 して、大 き い 事 故^{うごだ}に な る と ころ だ っ た。

A しばらく B ぜひと C なかなか D ひとりでに

3 姉^{あね}の 料 理^{りょうり}は、見 た 目^{みめ}は _____ 味^{あじ}は お い し い。

A ともかく B もちろん C なんとか D ぬきで

4 考 え ごと を し て い て、コ ッ プ の 水^{みず}を _____ し ま っ た。

A ながれて B あふれて C こぼして D あげて

5 そ の 情 報^{じょうほう}が 間 違 い ない _____、夢^{ゆめ}の よ う で す。

A として B といえば C としたら D といっても

6 い き な り 道^{みち}に 子 ども が 飛 び _____ き て、び っ く り し た。

A 掛けて B 切って C 上げて D 出して

7 来 週^{らいしゅう}の 会 議^{かいぎ}の 日 程^{にってい}が 変 更^{へんこう}に な り ま し た の で、ご 連 絡^{れんらく}し た _____ で す。

A 一方^{いっぽう} B 次第^{しだい} C ため D こと

8 あ ん な _____ ホ テ ル に 一 度^{いちど} 泊 ま っ て み た い も の だ。

A わずかな B 豪華^{ごうか}な C 適度^{てきど}な D 孝行^{こうこう}な

9 説 明 書^{せつめいしょ}を よ く _____ 上^{うへ}で、こ の 機 械^{きかい}を 使 用^{しよう}し て く だ さ い。

A 読む B 読んだ C 読んで D 読まない

10 こ の 書 類^{しよるい}に 名 前^{なまえ}と 住 所^{じゅうしょ}を _____ し て く だ さ い。

A 記入^{きにゅう} B 保証^{ほしょう} C 証明^{しょうめい} D 伝記^{でんき}

Ⅱ _____ とほぼ同じ内容のもの、または、_____ と最も関係のあるものをA～D
の中から一つ選びなさい。

- 1 今日きょうのテストは難むずかしくありませんから、そんなに心配しんぱいしなくてもいいですよ。
A 心配しんぱいするしかありません B 心配しんぱいすることになっています
C 心配しんぱいすることはありません D 心配しんぱいすることにはしていません
- 2 彼かれは甘いものあまが大好きだいすだ。
A 舌したがいい B 目めがいい C 舌したがない D 目めがない
- 3 この写真しゃしんを見るみたびに、家族かぞくで旅行りょこうしたことを思い出おもす。
A 見みている最中さいちゅうに B 見みたついでに
C 見みるといつも D 見みながら
- 4 ずっと同じ姿勢おな しせい すわで座すわっていたので、足あしの感覚かんかくがあまりなくなつた。
A 足あしがしびれた B 足あしがふるえた
C 足あしがこごえた D 足あしがたおれた
- 5 今日きょうは忙いそがしくて、勉強べんきょうできなかつた。
A 勉強べんきょうどころではなかつた B 勉強べんきょうしたところだ
C 勉強べんきょうしないことはなかつた D 勉強べんきょうしないではいられなかつた
- 6 中山なかやまさんとお子こさんは、顔かおがよく似にています。
A ぐっすりです B そっくりです
C ぴったりです D ぎっしりです
- 7 家族かぞくを支さえるために働はたらかざるをえない。
A 働はたらきたくて仕方しかたがない B 働はたらいても仕方しかたがない
C 働はたらかなければならない D 働はたらいたほうがいい
- 8 起きる時間おき じかんや寝る時間ね じかんが毎日まいにち変わる生活せいかつをしていて、病気びょうきになつてしまった。
A 不安ふあんな B 不要ふような C 不思議ふしぎな D 不規則ふきそくな

9 このカフェは流れている音楽からして好きではない。

- A 音楽が違って B 音楽だけが
C 音楽も他のことも D 音楽があるから

10 ここが昨日、事故が起こったところです。

- A 事故の現象 B 事故の現実 C 事故の現状 D 事故の現場

Ⅲ _____ に入る最も適切なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 田中さん：「お先に失礼します。」

山田さん：「えっ、_____。」

田中さん：「はい、明日は朝からやりたいことがあるので、早めに寝たいんです。」

- A もう帰るんですか B 朝早く起きるんですか
C 失礼なんですが D まだ早いんですか

2 山田さん：「もしかして、中山さんじゃないですか。」

中山さん：「あっ、山田さん！ お久しぶりです。前にお会いしたのって……。」

山田さん：「ええと、_____。」

中山さん：「そうそう！ なつかしいですねえ。」

- A 10年ぶりに会う約束をしましたね
B 久しぶりに会えてうれしいですね
C 10年ぐらい前に東京でお会いして以来ですね
D 待ち合わせをして長い時間待ったからですね

3 やまだ 山田さん：「^{よやく}予約していた^{やまだ}山田です。」

ホテルの人：^{ひと}「はい、^{やまださま}山田様。ただ今^{いま}ご予約を^{かくにん}確認いたします。……あのう、^{やまださま}山田様が^{よやく}ご予約なさっていた^{へや}お部屋なんですが、^{でんき}電気の^{こしょう}故障で^{つか}使えなくなっておりまして……。」

やまだ 山田さん：「えっ、それは^{こま}困るなあ。」

ホテルの人：^{ひと}「大変^{たいへん}申し^{もう}訳^{わけ}ございません。アップグレードさせていただきます、
_____。もちろん^{りょうきん}料^か金は^{かわり}変わりません。」

やまだ 山田さん：「それなら、その^{へや}部屋で^{ねが}お願いします。」

ホテルの人：^{ひと}「ご不便^{ふべん}をおかけして、大変^{たいへん}申し^{もう}訳^{わけ}ございません。それでは、^{へや}お部屋
にご案内^{あんない}いたします。」

A ^{みやげ}お土産を^{じゅん び}準備しましたので、お^{う と}受け取りください

B ^{いま}今から^{しゅう り}修理の^{ひと}人を^よ呼びますので、しばらく^まお待ちいただけませんか

C ^{りょうきん}料金の^{やす}安い^{へ や}お部屋がありますので、その^{へ や}部屋にお泊まり^といただきます

D ^{うみ}海が見える^{ひろ}広い^{へ や}お部屋が^{よう い}ご用意できますが、いかがでしょうか

4 た なか 田中さん：「明日^{あした}のパーティーの^{じゅん び}準備、どうなってる？」

なかやま 中山さん：「^{の もの}飲み物は^{じゅん び}準備できました。お酒も^{さけ とど}届いているし、ジュースやお茶も^{ちや}
^{れいぞう こ ひ}冷蔵庫で冷やしてあります。」

た なか 田中さん：「^{りょう り}料理も^{ちゅうもん}注文したし、^{さら}皿や^かコップも^{だいじょう ぶ}買ってきたから大丈夫だね。
あっ、_____。」

なかやま 中山さん：「それなら、明日^{あした}、パーティーの^{まえ}前に^かケーキを買ってきます。」

た なか 田中さん：「じゃあ、^{ねが}お願い。」

A ^{あま}甘いものもあつたほうがいいかな

B ^{じゅん び}コーヒーを^{わす}準備するのを忘れちゃった

C ^{じゅん び}準備はこれで大丈夫そうだね

D ^{れいぞう こ なか}デザートも冷蔵庫の中にあるね

- 5 やまだ 山田さん：「ねえ、うちの冷蔵庫^{れいぞうこ}もらってくれないかなあ。あたらしい^{あたら}の買った^かから、
いらなくなっちゃって。」
たなか 田中さん：「うーん、うちは今使^{いまつか}ってるのがまだ新しい^{あたらしい}から……。そう言えば、中山^{なかやま}
さん、今度^{こんど}寮^{りょう}からアパートに引越^ひすから、いろいろ買^かわないとっ
て言^いってたよ。」
やまだ 山田さん：「そうなの？ じゃあ、_____。」

- A 冷蔵庫^{れいぞうこ}はいらないね B 今度^{こんど}引越^ひすことにする
C 中山^{なかやま}さんに聞^きいてみる D 田中^{たなか}さんにあげよ

Ⅳ _____のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選^{えら}びなさい。

- 1 紙をよこにして書いてください。
A 彼はヨットで太平洋をおう断^きした。
B あの国の国おうは、来月、来日する予定だ。
C 美術館はこの広場の中おうにあります。
D まだ完成ではないですが、一おう、できあがりです。
- 2 牛乳をくわえて、よく混ぜてください。
A この町の住民のか半数が農家です。
B この授業の評かはとても良くて、クラスでトップでした。
C 賛成25、反対10で、この案はか決^きされました。
D イベントに参^まかしたい人はインターネットで申し込^こんでください。
- 3 海も空も真っ青で、さかいがわからないほどです。
A この川をもう少し下ると、鉄きょうが見えてきます。
B 未来のために、環きょうを守らなければなりません。
C 地震が起こったら、まず周囲の状きょうを確認してください。
D 妹ときょう力^{ちから}してお金を貯めて、大きいテレビを買いました。

4 プレゼントをきれいな紙でつつみました。

A 日本ではお茶を飲むときも、様々な作ほうがあります。

B 小さい子どもにほう丁を使わせるのは危険です。

C 来週、先生のお宅をほう問します。

D レモンにはビタミンがほう富に含まれている。

5 今日の天気予報はあたりませんでした。

A 台風の中でも、とう台の光は強く光り続けました。

B 会社では、通訳を担とうしています。

C 社会への不満を新聞にとう書しました。

D ここから南に向かって半とうが突き出ています。

V つぎ ぶんしょう よ
次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切な
ひと えら
ものを一つ選びなさい。

いま わたし て がる た て い しゃかい い きんじょ
今、私たちは手軽に食べるモノを手に入れられる社会に生きています。近所のスー
パーやコンビニに行けば、いつでもいろんな食品しよくひんを買うことができます。スーパーに
は、同じサイズ、同じ形かたちで傷きずのない野菜がいつでも並んでいます。ファストフード店
では、手軽に安くてそれなりにおいしい食事しよくじができます。

(1) このような生活せいかつを「当たり前」のように思っていますが、本当に「当たり前」
なのでしょうか？

みなさんは、近年きんねん、頻発ひんぱつしている台風や地震などの災害で停電を経験したことはあり
ますか？ スマホで友達とコミュニケーションをし、ネットで情報じょうほうを集めるのが「当
たり前」だったのに、電気でんきが止まるとそれらが一瞬いっしゆんにしてできなくなってしまう。電気
が止まると、冷蔵庫や電子レンジなどの家電製品かでんせいひんも使えなくなります。道路が遮断され
て物流ぶつりゅうが止まると、スーパーやコンビニの棚たながすぐ空っぽになったことを、体験たいけんした
り、ニュースで見たりしたこともあるでしょう。

(2) みなさんの口まで食料しよくりょうを届ける現在のシステムは、その生産や加工や流通せいさん か こう りゅうつう
に安い労働力ろうどうりよくを使いつつ、冷蔵・冷房や輸送に膨大なエネルギーと資源しげんを使いつつ、
経済的効率性を最優先して、地球の裏側からみなさんの食卓までグローバルなサプラ
イチェーンきずを築いてきました。だからこそ、「当たり前」のように私たちがいつでもど
こでもすぐ食べるモノたを買うことができたのです。

でも、この経済的効率性を最優先したシステムは、脆いものです。そのどこかでトラブルがあったら、瞬く間に、私たちは食べるモノを手に入れる手段を失ってしまうのです。(中略)

それでは、そのような社会に生きる私たち一人一人は、これからどうすればいいのでしょうか？

はじめの一步として、(3) 身の回りの生活を見直して、お金の世界から離れてみることから変わり始められるのではないかと思います。

最近話題になった、斎藤幸平さんという経済思想家の『人新世の「資本論」』(集英社新書)という本があります。この中で斎藤さんは、商品としての「価値」ではなく、「使用価値」(有用性)を重視する社会に移行すべきだと提案しています。

売って儲ける「商品」としてお金で計られる価値より、自分と人の役に立つ、地域や環境にも貢献する有用性を重視する。つまり「使用価値」を重視することから変わり始められるとのこと。

私なりに食べもので紹介してみましよう。

例えば、(4) ペットボトルのお茶を買ってくる代わりに、自分でお茶を淹れてみたらどうでしょうか。お茶葉はたぶん買ってくるので商品経済から完全には抜け出せませんが、何%かは切り離せるでしょう。そうすれば、自分がお茶をおいしく飲んでほっこりするし、次はもっとおいしいお茶を飲みたいと思って、お茶の淹れ方を調べたり工夫したりするようになるかも。

おいしいお茶を淹れられるようになったら、家族や友だちに飲んでもらいたくなるかもしれません。自分や親しい人が飲む茶葉に使われる農薬が気になったり(すごい量です)、それを無農薬で育てようと努力してくれている農家さんに関心が向いたり、水道の水を確保してくれている市町村の水道局の人たちを応援したりしたくなるかもしれません。

おいしいお茶を淹れられる知識やスキル、それによって広げられる人間関係は、お金では計れない富となるでしょう。

お茶の次には、料理に挑戦してみてください。これからは老若男女とも、自分の身体と頭脳をつくる食べものを選び取ることで、自分で食事を用意できるスキルをもつことは、自己防衛のためにも環境負荷を減らすためにも必要になってきます。そうすれば、人も自然も壊さない食と農を考え始められるでしょう。

(平賀緑『食べものから学ぶ世界史』より、一部表記を改めた)

問い 1 下線部 (1) このような生活 とはどのような生活ですか。

- A いつでも簡単に食べものを買ったり、食事をしたりすることができる生活。
- B 台風や地震などの災害で電気が止まってしまう生活。
- C 冷蔵庫や電子レンジなどを使っている生活。
- D 食べものを手に入れられなくなってしまう生活。

問い 2 下線部 (2) みなさんの口まで食料を届ける現在のシステム の問題点は何ですか。

- A 食べものの生産や加工に高い労働力が必要なこと。
- B 世界的な流通が発達して地球の裏側から食べものがなくなってしまうこと。
- C トラブルが起これば食べものが手に入らなくなる。
- D 食べものを運ぶときに冷やしたり凍らせたりしていないこと。

問い 3 下線部 (3) 身の回りの生活を見直して、お金の世界から離れてみる とはどのようなことですか。

- A 値段による価値ではなく、どのぐらいの人に役立つか、地域や環境にどのような影響があるかに目を向けてみる。
- B スーパーやコンビニを使わずに、自分で野菜を作ったり料理をしたりして生活してみる。
- C 台風や地震などの災害が起これば流通が止まらないようなシステムを作ってみる。
- D 商品経済から完全に抜け出し、工夫してお茶を淹れてみたり、まわりの人に飲んでもらったりすること。

問い 4 下線部 (4) ペットボトルのお茶を買ってくる代わりに、自分でお茶を淹れてみたらどうでしょうか とありますが、自分でお茶を淹れることの効果について、筆者の考えと合わないものはどれですか。

- A お茶の淹れ方に興味を持って、もっとおいしいお茶が淹れられるように工夫するようになる。
- B お茶の葉の農薬やお茶を作っている農家さんのことなどについて知りたいと思うようになる。
- C おいしいお茶の淹れ方がわかるようになり、知識も人間関係も豊かになる。
- D 商品経済についてよくわかり、お茶の商品価値について考えるようになる。

問い5 本文と内容が合っているものはどれですか。

- A いつでもどこでも手軽に食べものを買えるように、災害があっても流通が止まらないような強いシステムを作った方がいい。
- B 経済的効率性ばかり考えるシステムは問題があり、人にも自然にもやさしい生活について一人ひとりが考えた方がいい。
- C 経済思想家の斎藤幸平さんは、モノの使用価値を重視する社会にできるよう、お茶を自分で淹れたり、料理をしたりすることを勧めている。
- D スーパーやコンビニで同じサイズ、同じ形で傷のない野菜があることは当たり前前で、これは地域や環境にも役に立っている。

問題

C

Advanced Level

I

- 1 学校が終わってから、よくあの店に立ち寄った_____。
- A ものだ B ものか
C ものではない D ものがある
- 2 急にコメントを求められたが、緊張して_____ことしか言えなかった。
- A 型破りな B 月並みな C 精密な D 頻繁な
- 3 今日の仕事はすぐに終わるか_____, あちこちから電話がかかってきて結局残業することになってしまった。
- A いっても B とあって C と思いきや D と相まって
- 4 人気歌手が来日するとあって、空港には多くのファンが_____。
- A 待ち望んでいた B 待ちなねていた
C 待ち構えていた D 待ちぼうけていた
- 5 あの小説は描写が残酷で読むに_____。
- A たまらなかった B 堪えなかった
C ほかならなかった D 難くなかった
- 6 このあたりの町並みは、江戸時代の_____を残している。
- A 気 B 感 C 情 D 趣
- 7 ドアが_____, 大勢の人がどっと部屋の中に押し寄せてきた。
- A 開いたからには B 開いたなり
C 開くが早いか D 開きながらも
- 8 メールに書かれた内容だけでは微妙な_____を理解するのが難しい。
- A フィルター B スペース C コンテスト D ニュアンス
- 9 医療制度の改革を_____議論が日夜繰り広げられている。
- A 通した B めぐる C 込めた D もってした

10 家で仕事をしてみたが、邪魔が入ってなかなか_____。

A あやつらなかった

B たばねなかった

C またがらなかった

D はかどらなかった

Ⅱ _____とほぼ同じ内容のもの、または、_____と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 彼は古い習慣にばかり固執して、新しいことをなかなか取り入れようとしない。

A こじれて

B こだわって

C しきって

D まごついて

2 叔父は気分がよく変わる人で付き合いにくい。

A 気分に文句があって

B 気分に野次があって

C 気分におuraがあって

D 気分をめどがあって

3 新しい仕事を始めてからというもの、ずっと緊張していたので疲れてしまった。

A 気を張って

B 見栄を張って

C 胸を張って

D 意地を張って

4 あの会社は考え方を変えて大成長を遂げた。

A 発想の変遷で

B 予想の変遷で

C 発想の転換で

D 予想の転換で

5 使用料を1年分まとめて納付した。

A 一旦で

B 一律で

C 一体で

D 一括で

6 外国で初めての一人暮らしを始めて、心細くて仕方がない。

A 寂しいといったらない

B 寂しいということはない

C 頼りないというものだ

D 頼りないというものではない

7 古い木製の橋を渡るとき、手すりや床が少し動いて音がして怖かった。

A きしんで

B にじんで

C かなって

D うなって

- 8 温泉宿の人々はみんな飾り気がなくて、都会から来た客にも親切にしてくれた。
A 無難で B 素朴で C 単純で D 極端で
- 9 田中さんは約束通り、10時ちょうどに姿を現した。
A しっかり B きっぱり C さっぱり D きっかり
- 10 親の言いつけにそむいて、友人から金を借りたことを今でも後悔している。
A さからって B そらして C たずさえて D たずさわって

Ⅲ _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 山田さん：「昨日の飲み会、10人ぐらいで行ったんだけど、みんなで先輩にごちそうになっちゃった。」
中山さん：「へえ、それは_____。」
- A 身に覚えがないねえ B 顔負けだねえ
C 腰を折ったねえ D 太っ腹だねえ
- 2 田中さん：「さっき、山田さんと話してたでしょう。あんなこと言って、大丈夫？」
中山さん：「確かに言いすぎたかもしれないけど……。でも、みんなだって困ってるし、ひとこと言わずにはいられなかったんだよ。」
田中さん：「まあ、_____」
中山さん：「そうだね、あとで電話してみるよ。」
- A みんな心配してるんだから、もっと言った方がよかったよ。
B 山田さんのこと、みんな迷惑だと思ってるから当然だよ。
C 中山さんが言ってくれなかったら、私が言おうと思ってたから、電話してみようか？
D 中山さんの気持ちもわからなくもないけど、あとで謝っという方がいいんじゃない？

3 中山さん：「田中さん、どうしたんですか。体の調子でも悪いんですか。」

田中さん：「実は、きのう夫が入院してしまって……。」

中山さん：「それじゃ、早く帰ってあげてください。その仕事、私がやりますから。」

田中さん：「そうですか？ _____。」

中山さん：「いえいえ、困ったときはお互い様ですよ。ご主人、早くよくなるとい
いですね。」

田中さん：「ありがとうございます。では、お先に失礼します。」

A それじゃ、この仕事、持って帰って家でやってみます

B 私の仕事ですから、最後まで自分の力で終わらせたいんです

C それじゃ、お言葉に甘えて……。残業させてしまってすみません

D 困っていたので、とても助かります。今日中に終わらせておいていただけますか

4 店員：「店長、新しく入ってもらうアルバイトの件なんですが、二人の方から応募がありました。一人はアルバイトをしたことがないそうなんですが、週に6日働けるそうです。もう一人はレストランなどで働いたことがあると履歴書に書いてありました。」

店長：「経験がある方の方は週に何回働けるって？」

店員：「他のアルバイトとのかけもちなので、週に2日だそうです。」

店長：「そうか……。_____。じゃあ、まず二人目の人に連絡をとって、何曜日に働けるか聞いてみてくれないかな。その人が週末のシフトに入るのが難しいようであれば、一人目の人にしよう。」

店員：「わかりました。」

A 週に2日しか働けないんじゃ、うちの仕事は無理だな

B 経験がある人の方が短期間で仕事を覚えられそうだね

C 経験がない方が仕事を覚えるのは早いと思うけど

D かけもちだったら経験があるかもしれないな

- 5 田中さん：「今度の社内誌に載せる写真なんですが、これなんてどうでしょう。」
山田さん：「京都支社の前で撮った写真ですか。みんなの笑顔がいい感じですね。
でも、あまりスペースがないので、人物だけにして周りを切ったらどうでしょうか。」
田中さん：「そうですね……。でも、この支社の建物が歴史的なもので、社内誌の記事の中にも出てくるので、できれば残したいんですが。」
山田さん：「そうですか。じゃ、_____。」
田中さん：「それがいいと思います。」

- A 建物の部分は来月にしましょうか
B 全体的に縮小してこのまま使いましょうか
C 今月の掲載はあきらめたらどうですか
D 歴史のある建物の写真を撮ってきましょうか

Ⅳ _____のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 窓に映った人 かげ は先生だと思ったが、見知らぬ人だった。
A 人類が繁 えい してこられたのは、科学技術の発展によるところが大きい。
B 博物館の入り口には常に守 えい がいる。
C この隣の建物で映画の撮 えい が行われているそうだ。
D どんなものも えい 久に続くことはなく、いつかは滅びる。
- 2 いい夢を見ていたのに、いいところで目が さ めてしまった。
A プレゼンではグラフや表を用いたほうが、視 かく 的にわかりやすい。
B 内 かく 総理大臣は、議員の投票によって決められる。
C レッスン毎週ではなく かく 週なので、なかなか上達しない。
D あの選手は3つ目のメダルを かく 得した。

- 3 I 3歳の少女がオリンピックに出たと聞いて おどろ いた。
- A 私たちは自然の恩恵を きょう 受している。
- B 最下位だった選手が きょう 異的なスピードで追い上げ、優勝した。
- C 犯人に きょう 迫され、店の売上金を渡してしまった。
- D 生まれ育った きょう 土の文化を守っていきたい。
- 4 気になることがあれば、気 が ねなく聞いてください。
- A 今年は英語 けん からの留学生が半数を占めるらしい。
- B 毎週クイズの けん 賞に応募しているが、まだ当選したことはない。
- C 人員不足とのことで追加で社員を派 けん することになった。
- D 最近男女 けん 用の衣服がずいぶん増えた。
- 5 本日はご利用いただき、まこと にありがとうございました。
- A 自然を せい 服するのではなく、共存の道を探さなければならない。
- B 母校で創立100周年を記念する式典が せい 大に行われた。
- C 彼女は何事にも せい 実に取り組むので、みんなから信頼されている。
- D 社員は賃金の引き上げを会社側に要 せい した。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

効率よく技術を獲得するために個人ができることとしては、「良き師匠や先輩を持つ」というのもあります。これは一般の技術の伝達の現場では、あまり意識されていないようです。しかし、たとえば伝統技術の現場では、どんな師匠や先輩につくかで、獲得できる技術のレベルが決まってしまうほど重要なものです。

技術を獲得するとき、まず(1) 全体像を見ておくとその後の知識の吸収が楽になります。とはいえ、まったく知識のない人がはじめて見る技術の全体像をつかむのはたいへんなことです。これを初心者が独力行うことなどほとんど不可能でしょうが、師匠や先輩の手助けを受けることができれば、初心者でも全体像を見る体験をすることは可能です。

こういうとき、離れた場所で注意深く見守っていながらも本人の自由にやらせてくれるのが良き師匠や先輩の特徴です。好き勝手にやらせているように見えて、致命的な失

敗を起こさないようにしっかりとみているのです。一方、ダメな師匠や先輩は自分の考えややり方を直接的に後輩に伝えようとして最初から後輩の行動をやたらと制約しようとしします。そのため後輩は経験できることが少なくなり、獲得できる技術の幅も狭くなります。(中略)

師匠や先輩に教えを請うというと、多くの人は手取り足取り教わる姿を想像するかもしれませんが、わからないことをなんでもかんでも先輩に質問し、その都度答えを得るというのは最も低レベルのやり取りでありあまり感心できません。これは初心者のうちこそ許されますが、そのような聞き方を続けていると自分のレベルも上がらないですし、やがては誰からも相手にされなくなってしまうでしょう。

(2) 教えを請うときのやり方には、レベルによって三段階があるように思います。第一段階は、いま紹介した、先輩が目の前にいてわからないことを直接聞くレベルです。まだ技術のなんたるかもわからない初心者レベルでは、このようなやり取りをするしかありません。ただし、このような方法で教えを請うときには、きちんと見守ってくれる先輩が必ず必要になります。

第二段階は、基本的に自分で問題を解決し、本当にわからないことについてだけ先輩に聞くレベルです。これには、先輩に疑問をぶつけることを仮定して自分で考え、先輩からどのような答えが返ってくるかを自分で想像しながら答えを見つけるというやり方も含まれます。

この方法は、なるべく自分で考えながら答えを見つけるのが特徴です。(中略) こうしたやり方をすると、目的意識を持って自分で行動しながら技術を獲得することになるので、高いレベルの技術を正確かつ早く習得できるようになります。

なお、自分で動いて答えを見つけるというのが基本だとすると、一見すると先輩はいらないように思えます。しかし、自分が出した答えが正しいかどうかの判断は自分自身ではできません。そこで自分の答えを確認するために、先輩の手助けを借りることになるのです。

第三段階は、優れた先輩に思いを馳せ、想像の世界の中でその人と対話をしながら技術を獲得するレベルです。これは最も高いレベルの技術の伝達法で、この場合は必ずしも生きている先輩がいる必要はありません。

現実には、(3) このようなシチュエーションはあまりないように思われるかもしれませんが、しかし、伝統技術を扱う現場では、長い間技術を守ってきた人が後輩にすべての技術を伝授する前にこの世を去るということはよくあります。しかも、一般の製造業の現場とちがって、彼らは技術に関する知識をマニュアルなどの文章に残したりしていません。こうなると、熟練した技術者がいなくなるとともに技術そのものが消えることになりかねません。

それでいて実際には後世にきちんと技術が伝わっているのは、想像の世界の先達と対話をしながら答えを見つけることのできる優れた後継者がいるからなのです。ちなみに、
(4) このように伝達された技術は、過去のものと同じように見えて実際はまったくちがいます。それは伝えられたというより、優れた後継者の手によって再びつくり上げられたといったほうがいいでしょう。しかも、自分で考えながら答えを出してきているので、時代の移り変わりによって生じた条件の変化にも応えられるものになっています。だから、技術の中身は過去のものよりもはるかにしっかりしたものになっています。

技術を伝えるというのは、このようなことではないかと私は考えています。表面的な知識さえ伝わればそれでいいというものではないのです。しっかりとした後継者に委ねられた技術は、時代の変化に合わせて進歩をし続けることができます。技術の獲得を目指している人たちは、ぜひともそのような優れた技術の担い手になることを目標にしていきたいと思います。

(畑村洋太郎『組織を強くする技術の伝え方』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1) 全体像を見ておく ことについて、本文の内容に合っているものはどれですか。

- A 初心者が一人でするのは難しいが、師匠や先輩の助けがあれば全体像は見られる。
- B 初心者がどのように工夫しても全体像を絶対に見ることはできない。
- C 師匠や先輩が初心者のそばで指示を出し続けることで、初心者は全体像を見られる。
- D 技術を獲得する前に全体像を見ておけば、師匠や先輩の教えは必要ない。

問い2 下線部(2) 教えを請うときのやり方には、レベルによって三段階がある について、本文の内容に合わないものはどれですか。

- A 第一段階では、見守ってくれる先輩が必要だ。
- B 第一段階では、直接、先輩にわからないことを質問する。
- C 第二段階では、自分で答えを見つけるので先輩は必要ない。
- D 第三段階では、頭の中で先輩と対話をしながら技術を身につける。

問い3 下線部(3) このようなシチュエーション とは、どのようなシチュエーションを指していますか。

- A 技術に関する知識がマニュアルとして残してある状況。
- B 技術を教えてくれる先輩が亡くなってしまっている状況。
- C 高い技術を持った人が後輩に丁寧に技術を伝える状況。
- D 高い技術が後輩に伝わって、技術が受け継がれる状況。

問い4 下線部(4) このように伝達された技術 について、本文の内容に合っているものはどれですか。

- A 後輩の技術よりも先輩の技術の方が、しっかりとしたものだった。
- B 先輩の持っていた技術が、そっくりそのまま後輩に伝えられている。
- C 先輩の技術よりも後輩の技術の方が、時代の変化に応じたものになっている。
- D 先輩の持っていた技術とは関係がなく、後輩が自分で考えて作った技術である。

問い5 本文の内容に合っているものはどれですか。

- A 技術を獲得するためには、段階に応じて先輩への質問の仕方を変えたり、自分で考えたりすることが重要だ。
- B 技術は後継者が自分で考えて新たに作り上げるものなので、表面的な技術が伝わればそれで十分だ。
- C いい師匠や先輩がいなければ技術の伝達は全くできないので、技術を伝えるためにはいい指導者の育成が必要だ。
- D 効率よく技術伝達を行うために、いい師匠や先輩を持つ必要があることは、昔から強く意識されてきた。